

開講年度	令和 8 年度	開講課程	博士前期課程
授業名	地域医療課題概論		
開講キャンパス	紀三井寺・伏虎	教室	基礎教育棟 3 階講義室 2 中講義室 3 0 4
科目区分	ベーシック科目	配当年次	1 年次
必修・選択の別	必修	単位	1 単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	地域枠制度、遠隔医療支援システム、認知症、高齢化、眼疾患、地域医療、予防医療、がん医療、緩和ケア、在宅医療、地域包括ケアシステム、地域医療連携		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	教授 蒸野寿紀、教授 廣西昌也、准教授 田中才一、教授 西村好晴	
	薬	教授 江頭伸昭、教授 今井哲司、非常勤講師 岡田 浩、教授 中川貴之	
授業の概要	本県は南北に長い地形で山間部も多く、地域医療体制の確保が重要であるとともに、高齢化に伴う認知症などの疾患が地域の保健医療課題となっている。本講義では、本県の地域医療の実態を学ぶとともに、認知症など高齢者に多い疾患について学修し、地域の保健医療課題への関心・理解を深める。また、在宅緩和ケアや予防医療、医療・介護資源の確保、副作用管理等における地域医療の役割について概説し、地域医療連携の現状と課題への理解を深める。		
到達目標	<input type="checkbox"/> 本県における地域枠制度の重要性を高い知識レベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 遠隔医療支援体制の有用性を理解する。 <input type="checkbox"/> 和歌山県における認知症医療の課題について説明することができる。 <input type="checkbox"/> 地域における高齢者の眼疾患の実態を理解するとともに、ライフステージに応じた早期介入による視覚障害の予防、視覚リハビリの知識を修得する。 <input type="checkbox"/> 緩和ケアの地域ネットワーク及び在宅緩和ケアに関する知識を修得する。 <input type="checkbox"/> 地域包括ケアを含めた国内外のインクルーシブケアの実例について知識を修得する。 <input type="checkbox"/> 地域における予防医療の取組や、がん医療や緩和ケアにおける地域医療の役割について理解する。 <input type="checkbox"/> 地域医療連携において、医薬品適正使用の推進や副作用管理に関わる医療人に必要とされる知識を修得する。		

授業計画	<p>1. 地域枠制度・地域医療の実態・医師確保の最近の動向（蒸野寿紀／1回）【11/18 6限】 本県の地域医療体制の確保における地域枠制度の役割について概説し、本県の地域医療の実態・医師確保の現状について解説する。</p> <p>2. 和歌山県における認知症（廣西昌也／1回）【11/18 7限】 高齢化の進む本県における認知症の概況、診療体制及び早期発見・予防などの取組について解説する。</p> <p>3. 地域における予防医療の取組とがん医療・緩和ケアにおける地域医療の役割（江頭伸昭／1回）【11/25 6限】 地域における予防医療の取組や、がん医療・緩和ケアにおける地域医療の役割について解説する。</p> <p>4. 地域医療連携における副作用管理の実態（今井哲司／1回）【11/25 7限】 地域医療連携における医薬品適正使用の推進や副作用管理の重要性、及び現状について概説する。</p> <p>5. 地域医療連携（岡田 浩／1回）【12/2 6限】 インクルーシブケアの現状や問題点について概説し、理解を深める。</p> <p>6. 地域/在宅緩和ケア（中川貴之／1回）【12/2 7限】 緩和ケアの地域ネットワーク及び在宅緩和ケアにおける現状や問題点について概説し、その関心や理解を深める。</p> <p>7. 地域における眼疾患の実情とロービジョンケア（視覚リハビリ含む）（田中オー／1回）【12/9 6限】 地域における高齢者の視覚障害の実情について知識を得て、眼疾患のマネージメントを通して視覚リハビリなどのロービジョンケアに関して理解を深める。</p> <p>8. 心臓血管外科における遠隔医療支援システム（西村好晴／1回）【12/9 7限】 心臓血管外科領域における地域医療支援体制としてのドクターヘリ、医療関係者間コミュニケーションアプリの有用性と課題について解説する。</p>
授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	<p>【教科書】授業計画1 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。</p> <p>【参考書】授業計画1 「地域医療テキスト」 監修：自治医科大学 出版社：医学書院 「地域医療学入門 改訂第2版」 監修：全国地域医療教育協議会 出版社：診断と治療社 「地域医療白書 第5号 これからの地域医療を担う人たち」 編集：自治医科大学 地域医療白書編集委員会 出版社：随想舎</p>